

宇都宮大学歌

薄井 宏 作詞

早乙女典夫 作曲

1. 高空に ひかりあかるく
たたなわる 遠き^{やまなみ}山脈
まなびやは 緑に映えて
若き夢 庭につどえる
ああ白雲の かげなびく「峰が丘」

2. かげりなき^{そら} 天の心よ
降る星の 深きささやき
^{おお} 巨いなる 人の想いぞ
地にのこる^{ふみ} 書は語らん
ああ悠久の 時流る「峰が丘」

3. とこしえに 光はあれど
雲かげる 憂い世にあり
一すじの ひろき学びに
もゆる火の^{まこと} 信念ゆるがじ
ああ清純の 血はたぎる「峰が丘」

4. うけつぎし 代々のみのりぞ
いやまさん^{つよ} 勁き生命よ
ともにゆく 日々のはげみに
人の世は 望みあふれん
ああ永遠の 栄えあれ「峰が丘」